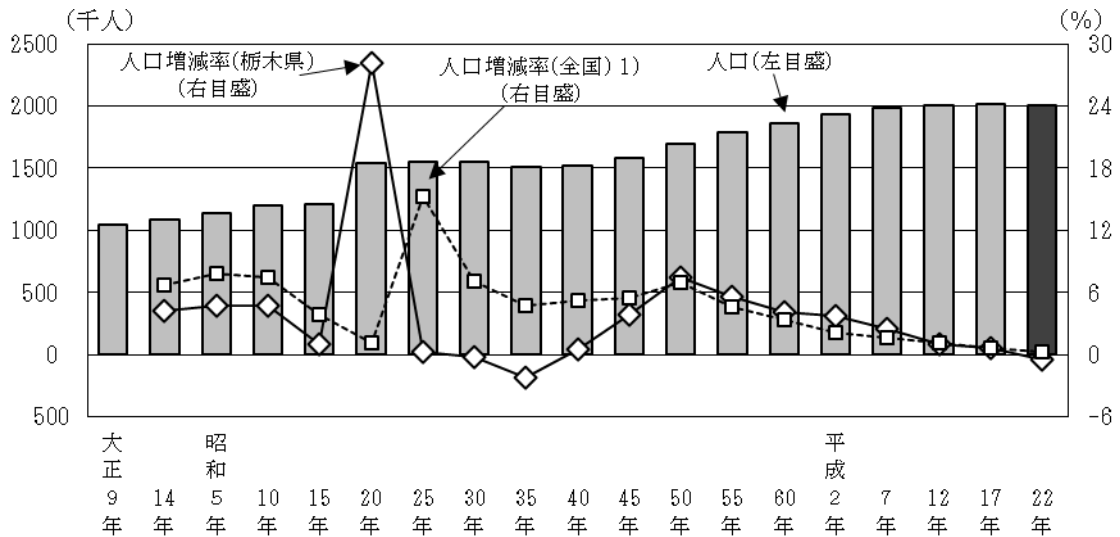


平成 22 年国勢調査 人口等基本集計結果の概要〔栃木県〕

- 1 平成 22 年 10 月 1 日現在の栃木県の人口は 2,007,683 人で、前回調査の平成 17 年に比べ 8,948 人、0.4%減少している。
- 2 人口を市町別にみると、宇都宮市が 511,739 人（県人口の 25.5%）で最も多く、次いで小山市が 164,454 人（同 8.2%）、足利市が 154,530 人（同 7.7%）、となっており、最も少ないのは西方町の 6,521 人（同 0.3%）となっている。
- 3 人口を男女別にみると、男性が 996,855 人、女性が 1,010,828 人で、女性が 13,973 人多く、人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は、平成 17 年の 98.8 から 98.6 に低下している。
- 4 人口を年齢別にみると、15 歳未満人口は 269,823 人（県人口の 13.6%）、15～64 歳人口は 1,281,274 人（同 64.4%）、65 歳以上人口は 438,196 人（同 22.0%）となっている。これを平成 17 年と比べると、それぞれ、0.6 ポイント低下、2.0 ポイント低下、2.6 ポイント上昇している。
- 5 15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶の割合は男性が 61.5%（平成 17 年比 0.9 ポイント減）、女性が 59.7%（同 0.7 ポイント減）、未婚の割合は男性が 31.5%（同 0.1 ポイント増）、女性が 20.8%（同 0.3 ポイント減）となっている。
- 6 県内に在住する外国人は 26,429 人で、平成 17 年に比べ 107 人、0.4%増加している。
- 7 栃木県の一般世帯数は 744,193 世帯で、平成 17 年に比べ 38,987 世帯、5.5%増加している。また、一般世帯のうち一人世帯が 203,393 世帯（一般世帯の 27.3%）と最も多くなっている。
一般世帯の 1 世帯当たり人員は、平成 17 年の 2.81 人から 2.65 人に減少している。
- 8 世帯の家族類型をみると、核家族世帯は 413,825 世帯（一般世帯の 55.7%）で、このうち夫婦のみの世帯は 136,758 世帯（同 18.4%）、夫婦と子供から成る世帯は 212,054 世帯（同 28.5%）となっている。また、単独世帯は 203,393 世帯（同 27.4%^(注)）となっている。
一般世帯に占める単独世帯の割合は、平成 17 年の 24.4%から 3.0 ポイント増加している。
(注) 家族類型不詳の世帯が存在するため、一般世帯に占める一人世帯の割合（27.3%）とは数値が異なる
- 9 65 歳以上世帯員のいる一般世帯は 291,165 世帯（一般世帯の 39.1%）で、このうち「一人暮らし高齢者」（65 歳以上の単独世帯）は 52,870 世帯（65 歳以上世帯員のいる一般世帯の 18.2%）、高齢夫婦世帯^(注)は 65,235 世帯（同 22.4%）となっている。
一般世帯に占める 65 歳以上世帯員のいる一般世帯の割合は、平成 17 年の 37.1%から 2.0 ポイント増加している。
(注) 夫が 65 歳以上、妻が 60 歳以上の夫婦 1 組の一般世帯
- 10 住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家の割合は 68.8%で、平成 17 年に比べ 0.2 ポイント低下している。

図1 人口及び人口増減率の推移—栃木県（大正9年～平成22年）



(注) 昭和20年は人口調査結果による。

1) 昭和20年及び25年の人口増減率は沖縄県を除いて算出。

図2 年齢（3区分）別人口割合の推移—栃木県（平成7年～22年）

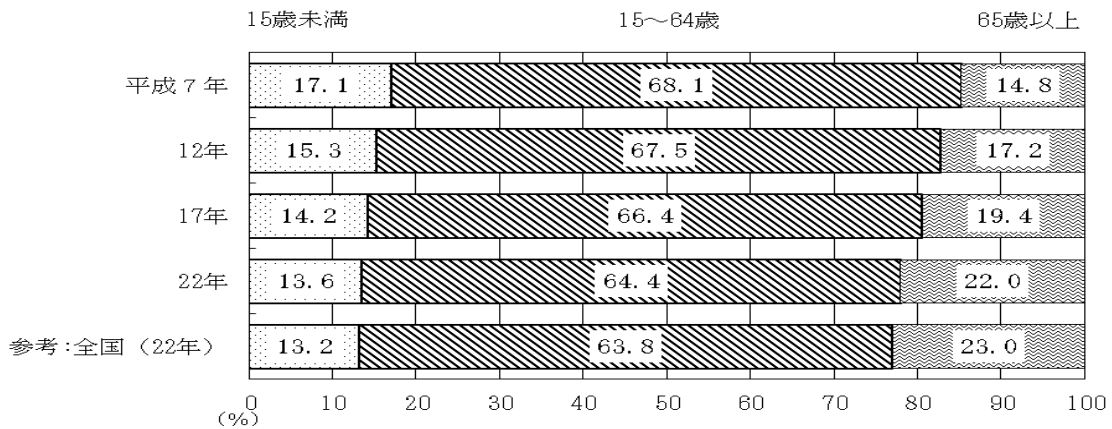
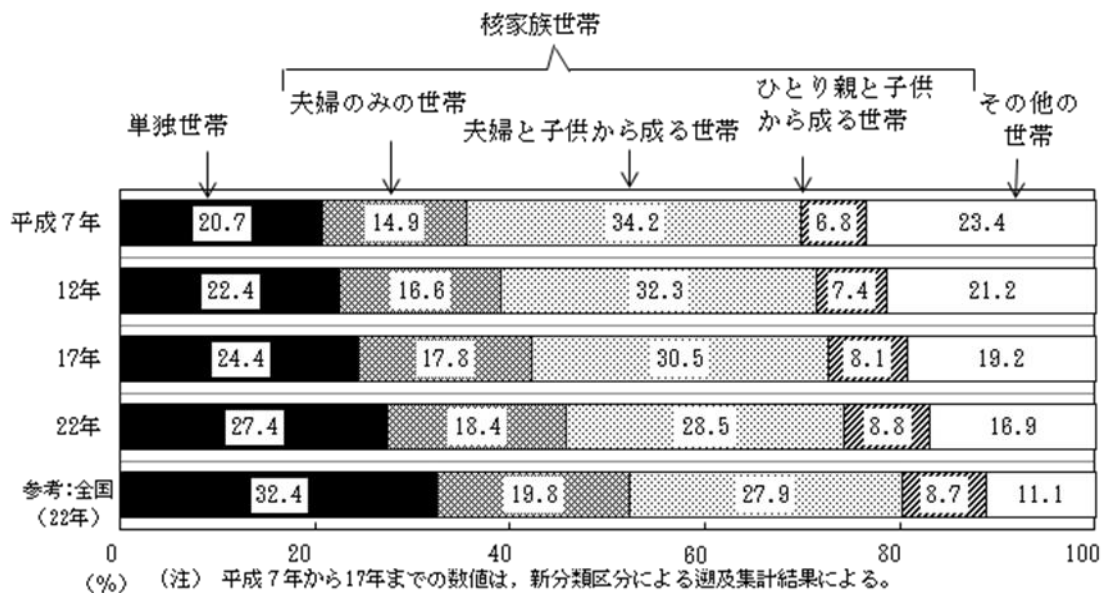


図3 一般世帯の家族類型別割合の推移—栃木県（平成7年～22年）



(注) 平成7年から17年までの数値は、新分類区分による遡及集計結果による。